

# ハノーバーメッセ2026 出張報告

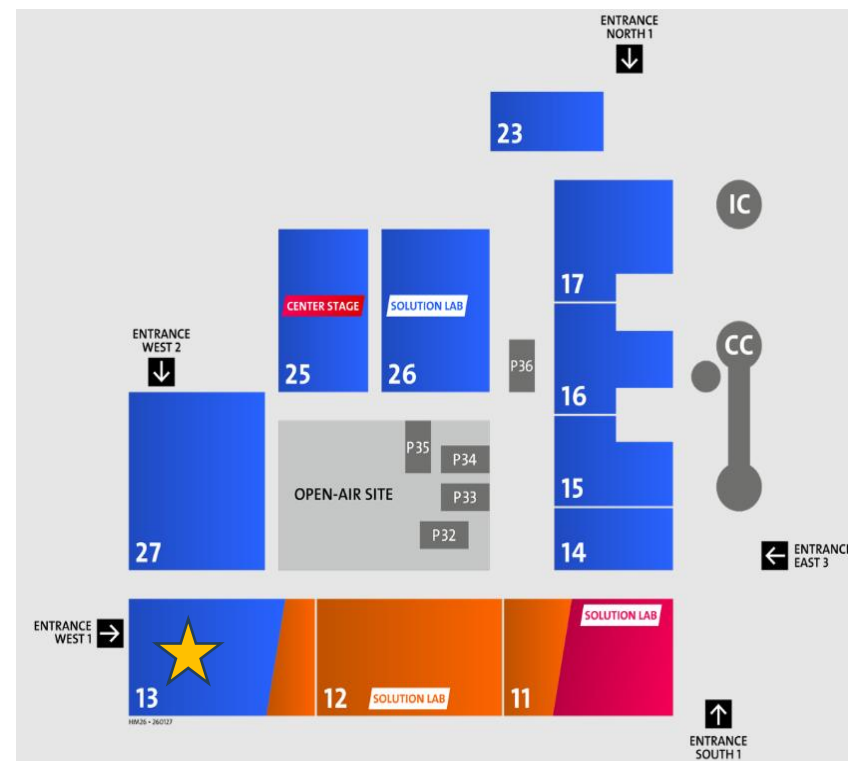


2026年5月22日  
RRI事務局

## 目次

1. 報告概要
2. イベント聴講による政策動向の把握
3. イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化
4. 展示動向

- 会期：2026年4月20日～24日
  - 場所：ドイツ・ハノーバー
  - メインメッセージ：“THINK TECH FORWARD”
  - パートナー国：ブラジル
  - 出展社数：約3,000社（前年：約4,000社）
  - 来場者数：約11万人（前年：約12.3万人）
  - 産業AI、ロボティクス、オートメーション、デジタル化等を中心に開催
- 上記の重点テーマに焦点を絞ってコンパクトな展示構成
- Automation & Digitalization展示分野のキー・トピックはIndustrial AI



# 参加目的および参加の全体像

## 参加目的：

- 国際社会へのアピール・連携強化
- 情報収集・動向調査
- 日本の団体・企業との連携強化



## 参加内容：

- 講演・情報発信：日独専門家会合、Society 5.0関連イベント等での講演・パネルディスカッション
- ブース出展：アビームコンサルティング主催共同ブース「Japan Industrial Park」への出展

情報処理推進機構(IPA)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)ほか、日本の複数の団体や企業が共同で展示・情報発信を実施

# ハノーバーメッセ参加の成果

## イベント聴講による政策動向の把握

- Industrial AIによる産業競争力の強化
- データ活用からAI実装・スケールに向けた基盤整備および過度な規制の調整を強調

## イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化

- 日独連携10周年の再確認と今後の連携強化をドイツ側と共有
- ODSに関してドイツ側への認知と連携する意思の確認
- 共同ブースにて日独双方の交流促進に寄与
- ドイツ側よりIndustrial AI戦略の紹介を受け、今後、議論を深めていく道筋の形成
- 欧州の産業データスペースの進捗、および標準化プロセス、オントロジー、セマンティクス整備の定着状況の確認

## 展示動向

- PI4.0ブースでは、Manufacturing-XやIndustrial AIの基盤技術を展示
- Siemens等の民間企業では、Industrial AIやデジタルツインを活用した企業内外データ統合ソリューションを展示。一方で、欧州データスペース仕様に基づく企業間データ連携の展示は限定的

## 目次

1. 報告概要
2. イベント聴講による政策動向の把握
3. イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化
4. 展示動向

## Opening Ceremony

メルツ独首相、ルラ・ブラジル大統領、ケーゲルZVEI会長 他

- 地政学、エネルギー、産業競争力を主要テーマとして講演
- Industrial AIを欧州産業競争力強化の重要要素として位置づけ



## Leaders' Dialogue

テーマ “Empowering Industrial AI”

ドイツ政府関係者、産業界幹部、AI・製造業関連企業等

- データ活用からAI実装・スケール段階への移行を強調
- IPCEI-AI枠組みの推進、規制とイノベーションの両立



## 目次

1. 報告概要
2. イベント聴講による政策動向の把握
3. イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化
4. 展示動向

# RRI関連の発信活動

- ハノーバーメッセ正式イベントとしての講演やパネルディスカッションに登壇
- Japan Industrial Park共同ブースでのPI4.0を交えたパネルディスカッション
- 日独でのF2F会合
- 日本人向け見所ツアーの開催

日程	4月19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)	22日 (水)	23日 (木)	24日 (金)
戦略系 イベント参加	Opening Ceremony		Leaders' Dialogue			
<b>講演・パネル登壇</b> <b>共同ブース</b> <b>日独会合</b> <b>見所ツアー開催</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● RRI x PI4.0共同セッション</li> <li>● 日独経済連携フォーラム (日独データ連携・相互運用性セッション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OECD会合</li> <li>● RRIとPI4.0との戦略会議</li> <li>● 日独標準化専門家会合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IMXパネル</li> <li>● Society 5.0関連セッション</li> <li>● 共同ブースでのパネル</li> <li>● 見所ツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セマンティック相互運用性セッション</li> <li>● 共同ブースでのパネル</li> <li>● 見所ツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日独産業トラストワーシネス&amp;セキュリティ専門家会合</li> <li>● 見所ツアー</li> </ul>

## 講演およびパネルディスカッション : Shaping the Future of Industry Together: Cooperation Strategy of PI4.0 (Germany) and RRI (Japan)

日時 : 4月20日 9:45-10:45

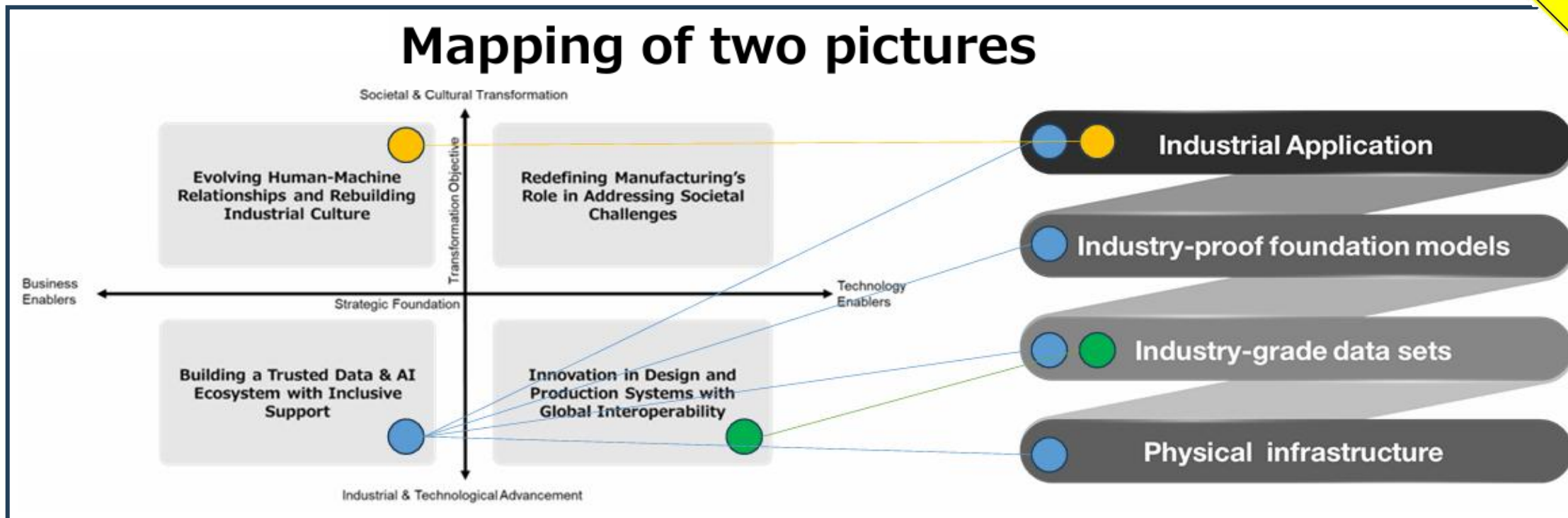
登壇者 : Henning Kagermann氏(acatech)、Markus Heß氏(独連邦経済・エネルギー省)、Thomas Hahn氏(Siemens)、Ingo Sawilla氏(TRUMPF)、木村 文彦氏(東京大学)、小田 信二氏(横河電機)、中島 一雄氏(RRI)

- 日本のRRIとドイツのPI4.0の両者の約10年にわたる信頼関係の成果の確認と今後の協力戦略
- Kagermann氏は、「日独の強みは産業知識と物理データに基づく“産業知能”にある」と説明





日独共同で整理しているマトリクス



昨年の国際シンポジウムを通して  
RRIとPI4.0共同で作成

社会・産業側の課題領域

今回PI4.0からの提案

Industrial AIを実現する技術基盤

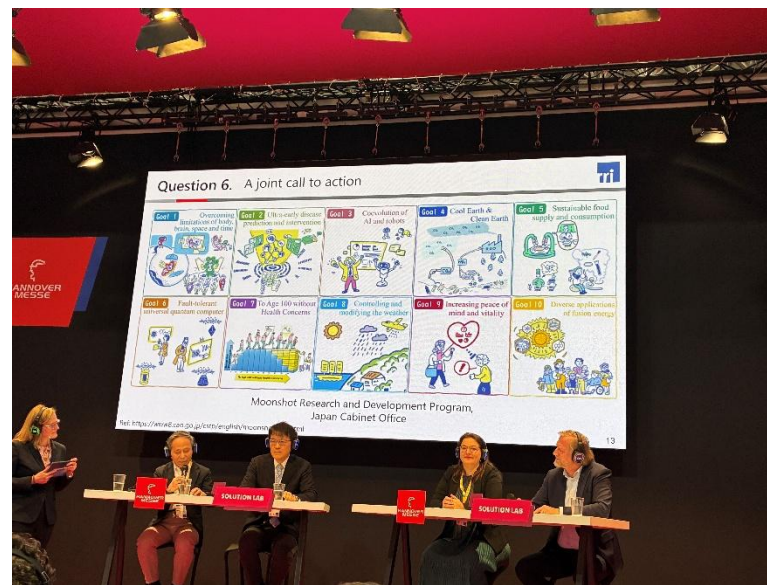
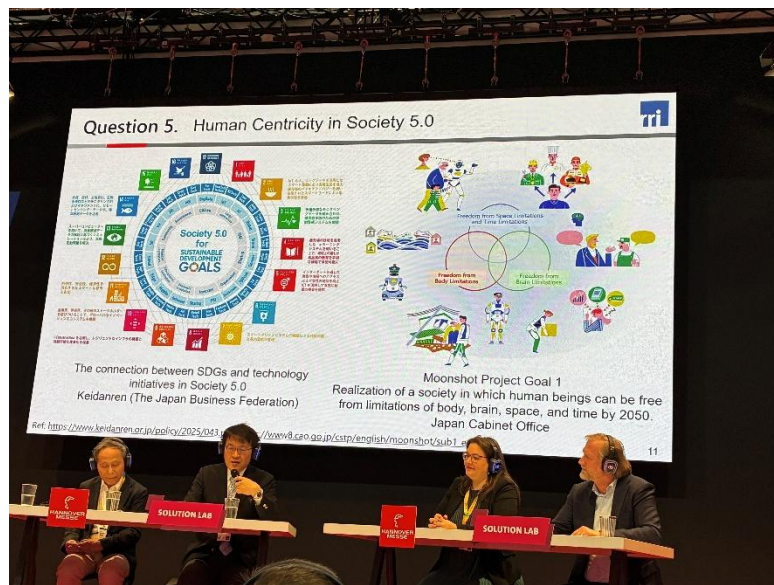
# Society 5.0関連セッション

## 講演およびパネルディスカッション：Society 5.0 – where do humans fit into the digitalized AI world of work?

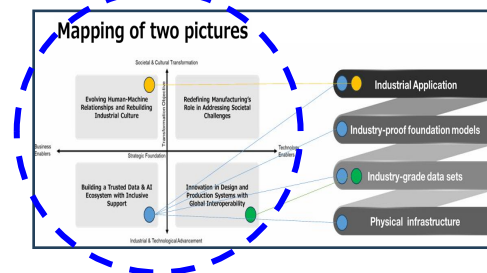
日時：4月22日 15:00-15:30

登壇者：Steffen Fischer氏(ifm)、Doris Aschenbrenner氏(Aalen大学)、木村 文彦氏(東京大学 名誉教授)、野中 洋一 氏(日立製作所)

- 日本が提唱する「Society 5.0」の考え方を、ドイツ側がIndustrial AIの流れで注目
- 「人間中心」の設計思想や働き方変革が重要。「社会・産業側の課題領域」の上位課題
- AI・デジタル化が進展する中で、「人間の役割」をどのように再定義するかについて討論



整理しているマトリクス



「社会・産業側の課題領域」に属する上位テーマ

# 日独経済フォーラム（日独データ連携・相互運用性セッション）

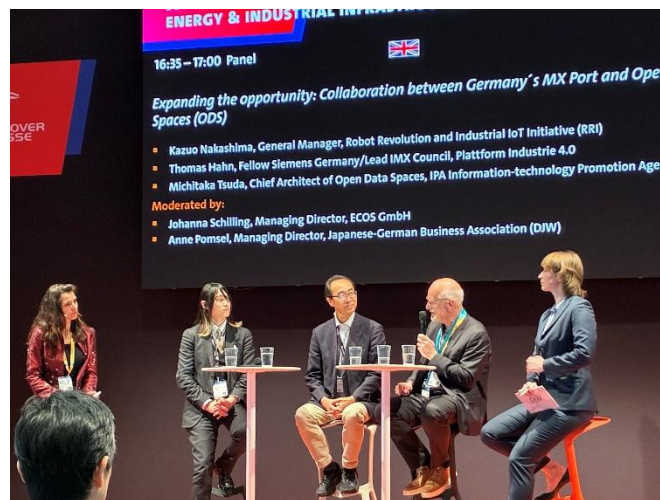
講演：The Germany-Japan Blueprint for Global Data Interoperability

パネルディスカッション：Expanding the opportunity: Collaboration between Germany's MX Port and Open Data Spaces (ODS)

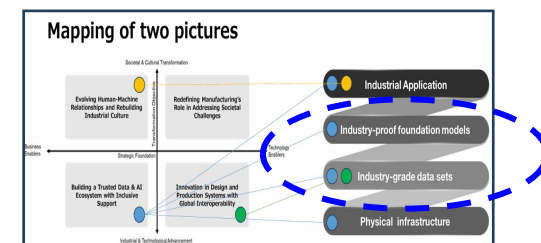
日時：4月22日 16:25-17:00

登壇者：Thomas Hahn氏(Siemens)、津田 通隆氏(IPA)、中島 一雄氏(RRI)

- Manufacturing-X (MX) とOpen Data Spaces (ODS) の連携の可能性をテーマに、グローバルデータ連携の構想を紹介
- データ共有においては、「Trust（信頼）」と「Interoperability（相互運用性）」が重要
- AI活用の前提として、意味レベルを含むセマンティック相互運用性の重要性についても言及



## 整理しているマトリクス



Industrial AIを実現する  
技術基盤の話題

# rrri セマンティック相互運用性セッション

## 講演 : Advancing Semantic Interoperability Layer as an enabler for AI-driven Manufacturing Transformation

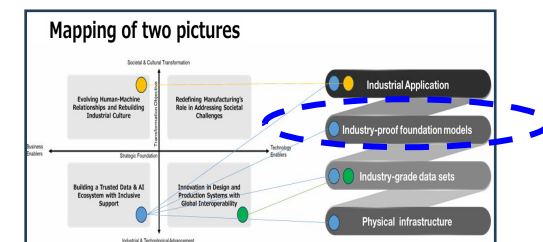
日時 : 4月23日 11:40-12:00

登壇者 : Klaus Dickmann氏、木村 文彦氏 (東京大学)

- AI-driven Manufacturing TransformationにおけるSemantic Interoperabilityの重要性について議論
- AI活用においては、データ量だけでなく、「意味付けされた信頼性の高いデータ」が重要
- 国・企業・システムを越えたデータ共有を実現するため、標準化とセマンティックレイヤ整備の必要性



### 整理しているマトリクス



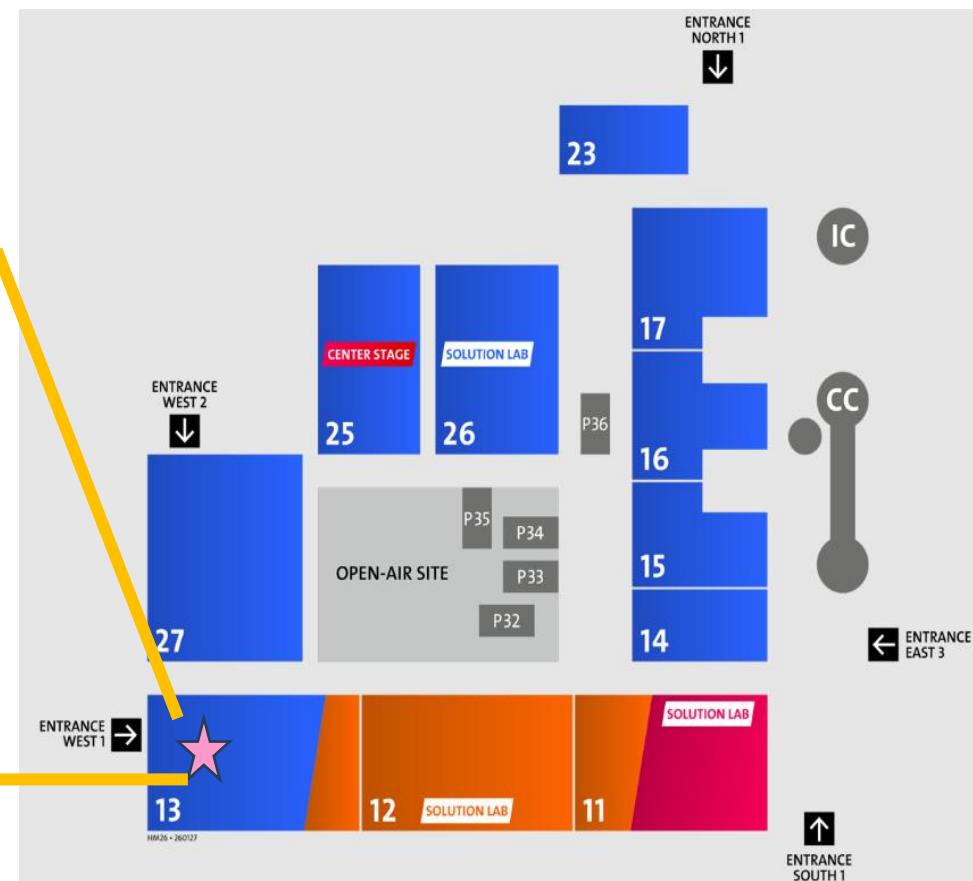
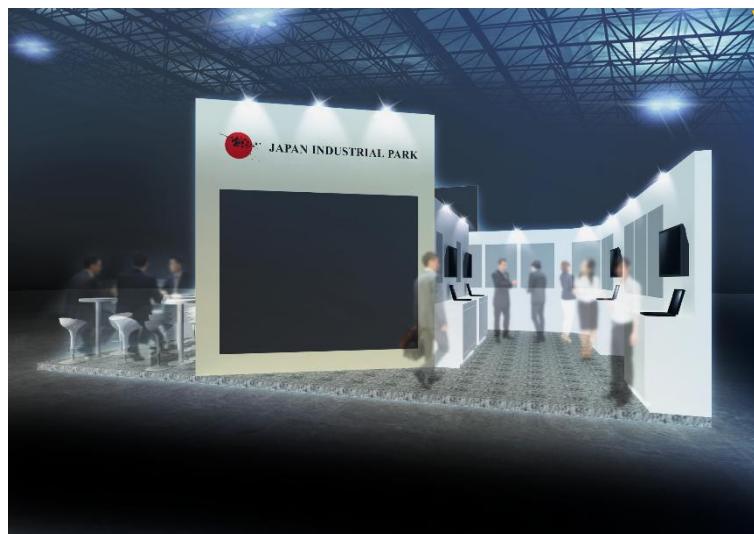
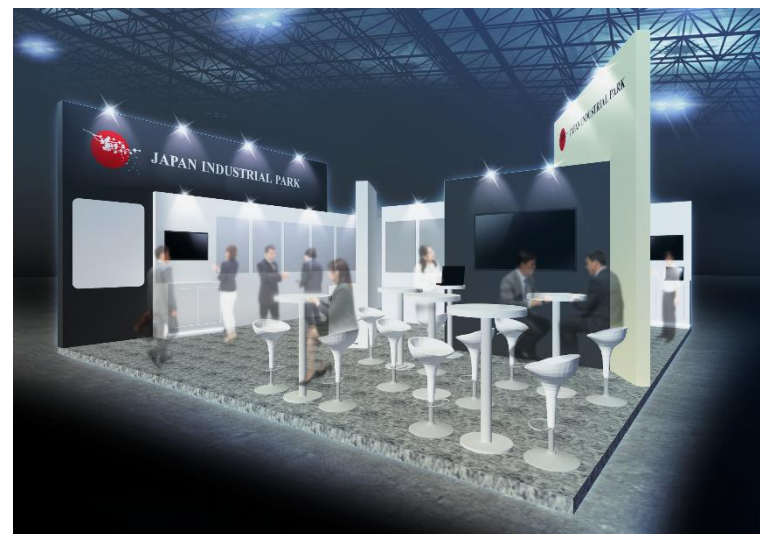
Industrial AIを実現する  
技術基盤の話題

## 目次

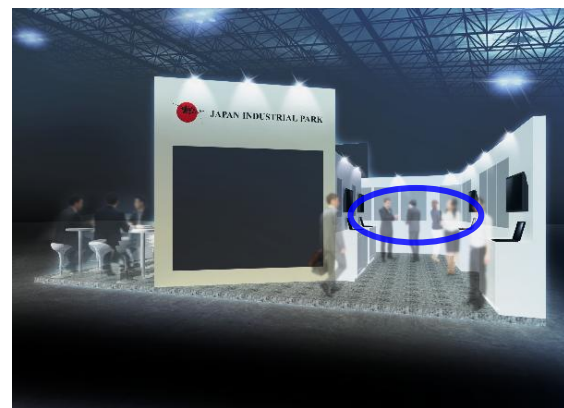
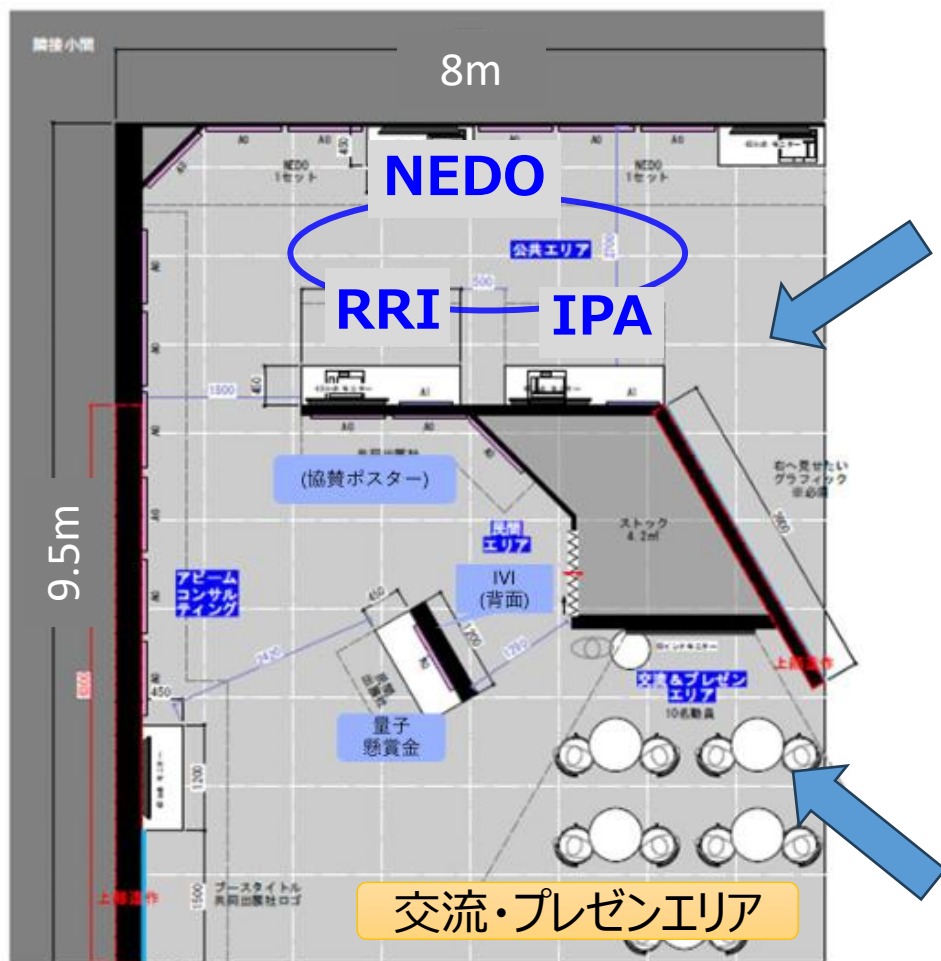
1. 報告概要
2. イベント聴講による政策動向の把握
3. イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化
4. 展示動向

# Japan Industrial Park共同展示の概要(1/5)

- 出展場所： Hall 13, E21
- Automation Systems & Componentsゾーン
- Entrance West1の近く
- 独PI4.0ブースに隣接



# Japan Industrial Park共同展示の概要(2/5)



こちら側の対面に  
PI4.0ブース



交流・プレゼンエリアで  
日替わりで講演

- IPA: Open Data Spacesの狙い、ODS-RAM仕様の紹介
- NEDO: バッテリートレーサビリティや化学物質管理などのユースケースの紹介
- RRI: 日本の製造業に対するデータ連携や国際協調の取り組み

# Japan Industrial Park共同展示の概要(3/5)

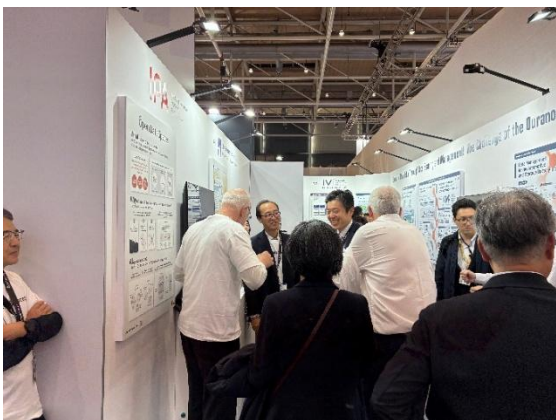
共同出展団体/企業		展示内容
公共団体	IPA	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本版データスペースの取り組みであるウラノス・エコシステムのアーキテクチャモデル「ODS-RAM」</li> </ul>
	NEDO (ODS事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウラノス・エコシステムに基づくデータ連携のユースケースと、その創出にむけての取組</li> </ul>
	NEDO (量子懸賞金事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NEDO懸賞金活用型プログラム/量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発</li> </ul>
	JETRO	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的な調達マッチングプラットフォームの紹介</li> </ul>
	RRI	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の製造業におけるデータ連携や、その国際協調に関する取り組み・RRIの位置づけを紹介</li> </ul>
	IVI	<ul style="list-style-type: none"> <li>PLMを製造業全体に拡張したコンセプト「製造業PLM」</li> </ul>
一般企業	iCAD	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Dデータ活用の考え方と技術</li> </ul>
	NTTデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>データスペースを支える技術と取り組み</li> </ul>
	ホスター たけびし	<ul style="list-style-type: none"> <li>OPCサーバーと通信ゲートウェイを提供。AIエージェントと連携するための製品コンセプトを提示</li> </ul>
	ホスター 日本化薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>水電解装置に用いるイオン交換膜</li> </ul>

# Japan Industrial Park共同展示の概要(4/5)

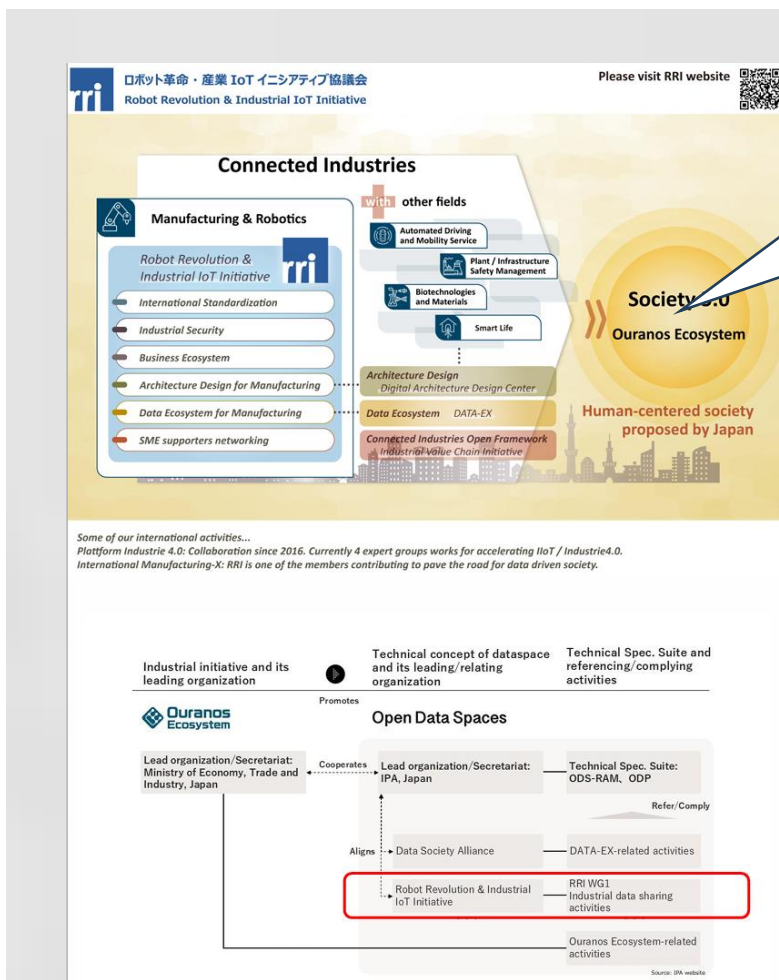
RRI展示：Society 5.0とODSを軸にした国際産業データ連携の推進活動の紹介



RRI展示



RRI展示付近



- Society 5.0を実現するための推進プロセス
- ODS推進の中でのRRIの位置付けの紹介

**Robot Revolution & Industrial IoT Initiative International Collaboration**

- Update on Joint Statement with PI4.0
- Collaboration with CESMII
- Joint paper with CESMII, PI4.0 and RRI

PI4.0 and RRI updated their joint statement at the 10-year milestone, reflecting advances such as AI and changes in the manufacturing landscape, and announced the update on October 21, 2025.

Scenes from the meeting with CESMII Jan. 20-22, 2026, in Purdue Univ.

An analysis of Industrial Sustainability for Potential Collaborations Published in Sep. 2025

2026 Copyright Robot Revolution & Industrial IoT Initiative, All Rights Reserved

RRIの活動を紹介(電子看板)

# Japan Industrial Park共同展示の概要(5/5)

- IPA、NEDO、RRI、IVIほか、日本の複数の団体・企業が共同で展示・発信
- IPAがODS仕様、NEDOがユースケース、RRIが国際連携の連続性のある展示
- PI4.0ブース向かいの好位置にあり、共同ブース全体では登録者ベースで約1,000名の来場
- 共同ブース内で、RRI×IPA×PI4.0のパネルディスカッションを実施
- 4月22日夜には情報交換会を開催。約50名が参加



Japan Industrial Park共同展示



共同展示でのパネルディスカッション

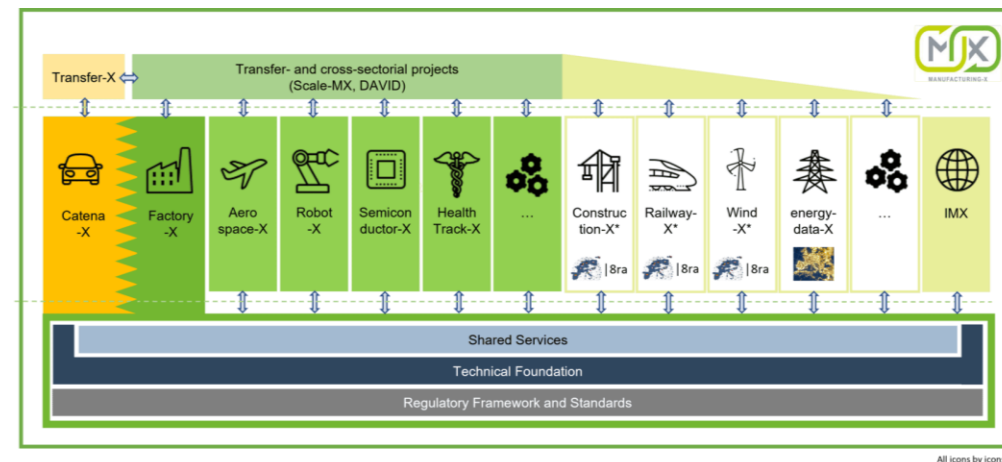


情報交換会

# Platform Industrie 4.0 (1/2)

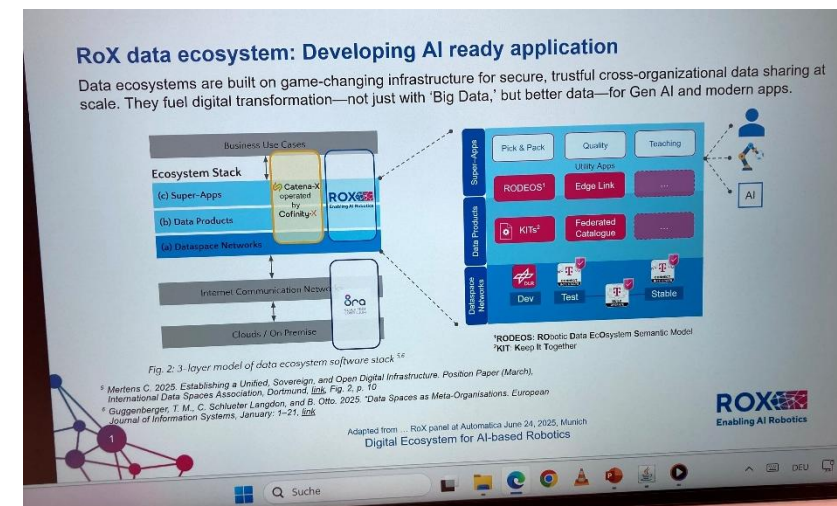
## Manufacturing-X

- ・ 複数データスペースを接続し、産業横断の相互運用性を実現する取り組み
- ・ Catena-Xの標準仕様やOSS基盤Eclipse Tractus-Xを他分野(Factory-X, Semiconductor-X, Construct-Xなど)へ展開
- ・ EC/ドイツ政府支援プロジェクト支援終了後はCofinity-Xのような商用運営主体への移行を想定  
→引き続きウォッチしていきたい



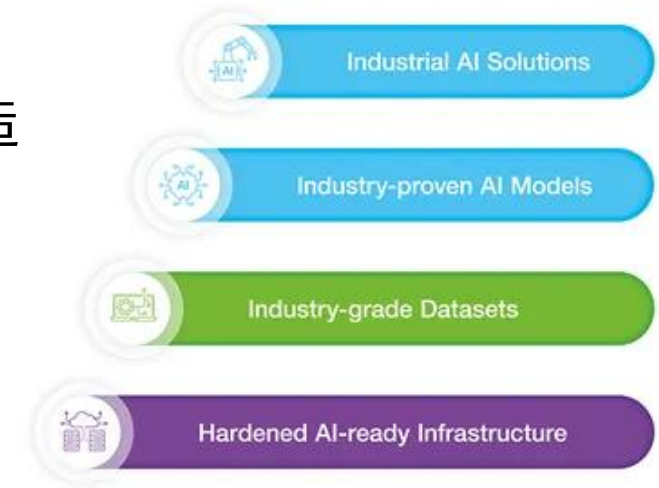
## RoX

- ・ AI搭載ロボティクス向け分散型データ・サービスエコシステム
- ・ AIを前提とした共通基盤(左)とそれを利用したユースケース(右)
  - AI学習・推論前提の安全共有やセマンティック整備
  - ピッキング、梱包作業
  - 品質検査
  - ロボット動作教示・学習



## Industrial AI

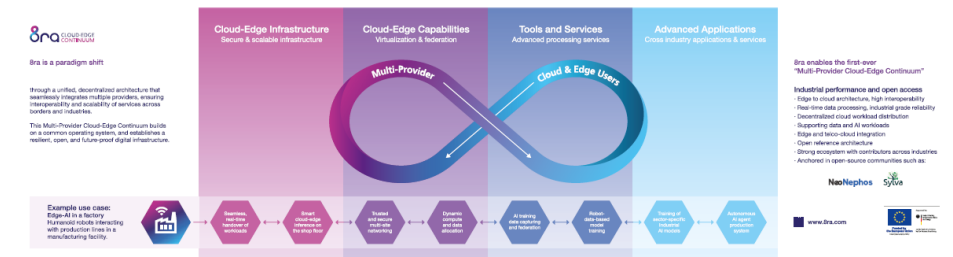
- ・ 「インフラ層」「データ基盤層」「AI／分析層」「価値創出層」の4層構造
- ・ データ取得からAI活用・業務反映までを一貫して統合する構想
- ・ データ基盤層にはManufacturing-X、インフラ層には8raを位置づけ
- ・ セクター特化型Industrial AIについては、今後具体化



## 8ra(オーラ)

- ・ 複数のクラウド・エッジ基盤を連携する「Multi-Provider Cloud-Edge Continuum」
- ・ AI処理を「近い」「低コスト」「サステナブル」等の条件で最適配置を可能とすることを志向
- ・ IPCEI-CISの枠組みで、12か国・約120組織が参画

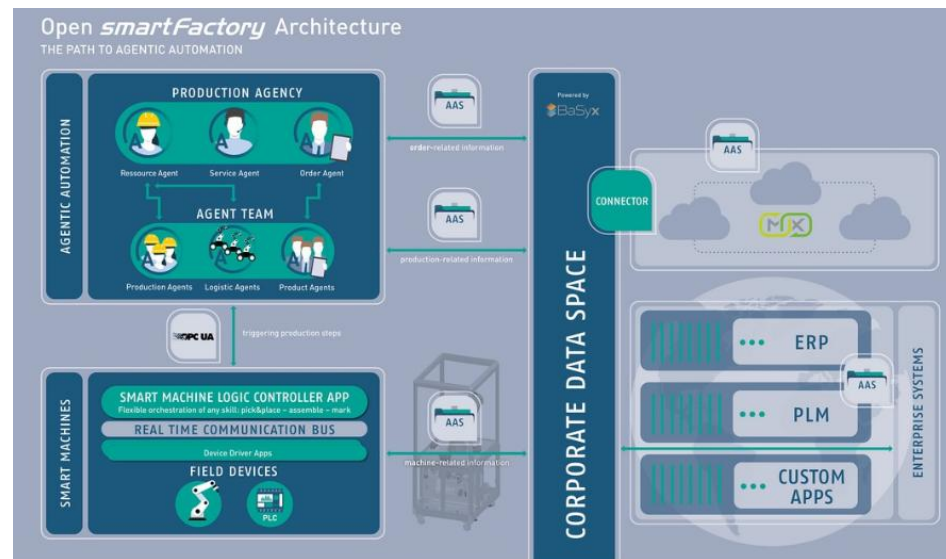
### Sovereign Cloud-Edge Infrastructure for European Industries



# その他の展示ブース(1/2)

## SmartFactory-KL

- ・ ドイツの非営利団体。製造DX・相互運用性検証を推進
- ・ 複数ベンダ設備を接続したモデル工場を展示
- ・ OT・IT間やデータスペースとの接続を実演
- ・ Asset Administration Shellを利用
- ・ Eclipse BaSyxデータ基盤による実装例



Open smartFactory Architecture

## OPC Foundation

- ・ Industrial AI時代の標準基盤として位置づけ
- ・ OPC UA Cloud eXchange (CX) : クラウド間・企業間で安全に共有するための仕組み  
リアルタイムデータ連携やデータスペース連携を想定している点が特徴
- ・ OPC UA for AI : OPC UAの情報モデルやセマンティクスを活用してデータを標準化・意味付け

# その他の展示ブース (2/2)

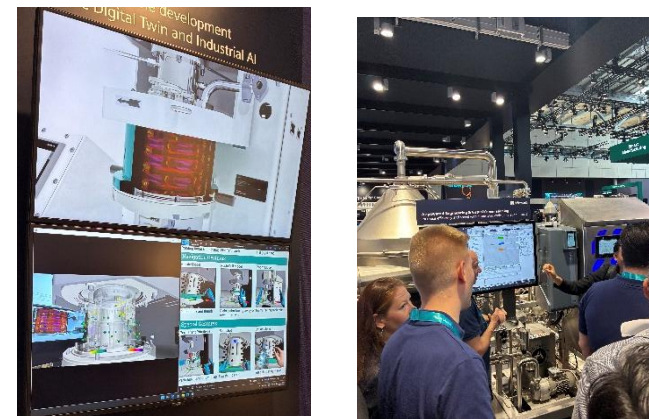
## Siemens

- ・ 「Industrial AI for the real world」をテーマに展示
- ・ Data Fabric、PLM、デジタルツインを統合
- ・ バーチャルPLC、Industrial Copilotを紹介
- ・ Agentic AIによる自律生産の方向性を提示

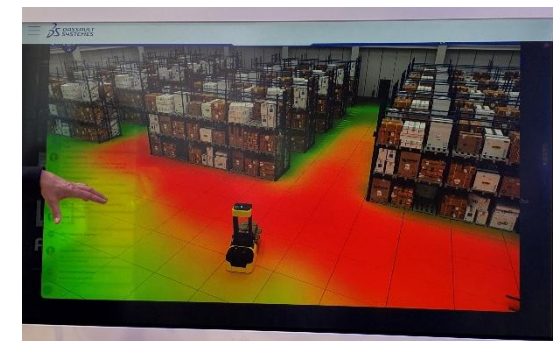
## Dassault Systemes

- ・ 設計～製造～運用を仮想空間で統合する  
「3DEXPERIENCE」と「Virtual Twin」を展示
- ・ PLMを軸とした企業内部データ統合

- ・ 両社ともIndustrial AIとデジタルツインの実装を推進
- ・ 一方、データスペース仕様や企業間データ連携への直接的な言及は限定的  
現時点では企業内部データ活用中心の展示



デジタルツインによる設備検証のデモ



物流倉庫の走行シミュレーション

# ハノーバーメッセ参加の成果（再掲）

## イベント聴講による政策動向の把握

- Industrial AIによる産業競争力の強化
- データ活用からAI実装・スケールに向けた基盤整備および過度な規制の調整を強調

## イベント登壇・会合を通じた日独連携の強化

- 日独連携10周年の再確認と今後の連携強化をドイツ側と共有
- ODSに関してドイツ側への認知と連携する意思の確認
- 共同ブースにて日独双方の交流促進に寄与
- ドイツ側よりIndustrial AI戦略の紹介を受け、今後、議論を深めていく道筋の形成
- 欧州の産業データスペースの進捗、および標準化プロセス、オントロジー、セマンティクス整備の定着状況の確認

## 展示動向

- PI4.0ブースでは、Manufacturing-XやIndustrial AIの基盤技術を展示
- Siemens等の民間企業では、Industrial AIやデジタルツインを活用した企業内外データ統合ソリューションを展示。一方で、欧州データスペース仕様に基づく企業間データ連携の展示は限定的



2026年6月  
予定